

巣鴨信用金庫 様

東京都城北および埼玉県南部を中心に、 地域密着の営業を展開する巣鴨信用金庫 「金融ホスピタリティ」を支えるWyse端末を採用した 仮想デスクトップソリューション構築への挑戦

金融機関から「金融ホスピタリティ」へ お客様にホスピタリティを提供する 巣鴨信用金庫

巣鴨信用金庫本店でのある午後、多くのお客様が3階ホールに集まり歓声を上げる。

巣鴨信用金庫ではとげぬき地蔵尊の縁日のある「4」のつく営業日、本店3Fを『おもてなし処』と名付けた休憩所として提供し、お茶とお煎餅を無料サービスしている。また14日には若手落語家による「お楽しみ演芸会」も開催、来場者は80万人を数えるという。

1922年(大正11年)に産声をあげた巣鴨信用金庫は90年あまりの長い歴史の中、一貫して「地域のお客様の繁栄と豊かな暮らしづくりのお手伝い」という経営理念に即した活動を継続している。『おもてなし処』や「お楽しみ演芸会」は、地域に貢献し、地域とともに歩む姿勢の象徴のひとつとなっている。

システムの更新・メンテナンスと セキュリティの確保という課題が発生

そんな地域に愛される同金庫を側面から支えるITシステム担当部署である、事務部システム。係長の亀井淳一氏は「システムの更新、メンテナンス」そして「セキュリティ」という二つの課題の解決に向けITインフラの変革に取り組んでいた。

「システム更改の際に、順次切り替えることはできないだろうか。データベース・サーバへの接続モジュールを一度に更新できるような簡単な手段はないのだろうか。また、各職員の机上にPCが固定されているリスクも早急に解決しなければならない。」

この背景には、2002年に大規模なシステム更改を行った際に、データベースの切り替えに合わせて、クライアント側のプログラムも更新しなければならないため、全部を一斉に入れ替えなければならない、準備に一年以上かかると



いう大変な労力を費やしたという経験があったという。

これらの課題を解決するため、長期的なコスト等も考慮した上で、同金庫はシンクライアント端末を利用したデスクトップ仮想化環境を構築することに決定した。

2009年5月に同金庫の関係者は初めてWyseシンクライアントを用いたデモを目にすることになった。その直後には、Wyse販売代理店が同金庫の社内に実証のための環境を構築し、お客様の目で実際に新しい仮想化環境を確認していただくというステップを踏んだ。その結果、同金庫佐野吉弥理事より高い評価を頂くこととなった。「アプリケーションを実際に導入し、レスポンスを含めた使い勝手を検証しました。書類だけでは判断が難しかったのですが、実際に目で見ることにより十分理解でき、その結果Wyseを含む仮想デスクトップ環境を選択することになりました。」

全金庫に500台もの Wyseシンクライアントを導入 運用・管理面やセキュリティ面の利点に加え、 高いユーザ操作性も実現

同金庫の仮想デスクトップ環境では、端末にWyseシンクライアントを導入し、サーバ側では

WYSE

TOKYO UNITY Bank 喜ばれることに喜びを
巣鴨信用金庫

巣鴨信用金庫
(THE SUGAMO SHINKIN BANK)

- 所在地:
〒170-8477
東京都豊島区巣鴨2丁目10番2号
- 電話:
03-3918-1131(代)
- ホームページ:
<http://www.sugamo.co.jp/>
- 創立:
1922年(大正11年)4月4日
- 出資金:
28億8,700万円
- 預積金:
1兆5,155億円
- 貸出金:
8,196億円
- 常勤役員員数:
1,203名
- 店舗数:
43店舗
- 会員数:
70,353名
- 理事長:
田村 和久
- 営業地域:
東京都城北・埼玉県南部
(以上、2010年3月現在)

■概要:
1922年(大正11年)、相互扶助・非営利・協同の精神のもと「有限責任信用組合巣鴨町金庫」として創立。
1997年(平成9年)に「喜ばれることに喜びを」をモットーに「金融機関」から「金融サービス業」への転換を図る。
2006年(平成18年)からは「金融サービス業」をさらに一歩進めた「金融ホスピタリティ」を掲げ、よりお客様にご満足いただける信用金庫を目指している。





亀井 淳一氏

巢鴨信用金庫
事務部システム係長

5年間で3割ものTCO削減を期待 また金融機関としての社会性に応える 極めて高いセキュリティ性も実現

巢鴨信用金庫ではWyseシンクライアントと仮想デスクトップ環境の導入により、運用効率の劇的な効率化や、端末の起動時間の短縮、消費電力の大幅な低減、さらに、端末の修理や交換の負担低減などにより、大幅なTotal Cost of Ownership (TCO) 削減を見込んでいる。試算によると、5年間の累計コストが約3割下がると期待されている。

さらに、ユーザ管理を中央で一括して行えるため、ユーザ・グループごとに利用可能なアプリケーションを設定するなどの制御を行うことができ、ユーザのアクセスについても、いつ何処で誰が何を使用したかという詳細なログがサーバ側に記録されるため、不正アクセスの防止・検知に役立つなど、セキュリティレベルが飛躍的に向上することとなる。これにより、高い社会的責任を要求される金融機関として、それに十分応えるだけのIT基盤を確保することができたと言えるだろう。

社内デスクトップインフラの最適化から、 更なるお客様サービスの拡充へ

Wyseシンクライアントの起動スピードやそのコンパクトさによるオフィス利用効率の向上、そしてWyse ThinOSのゼロコンフィギュレーション機能による運用効率の向上という側面において亀井淳一氏は次のように述べている。「わずか6秒という圧倒的な起動スピードには本当に驚いています。まだまだ新しいソリューションであるため使っていくところでの

シトリックス社のCitrix® XenApp™を搭載するという構成となっている。このプロジェクトは2009年6月に開始し、さまざまな検証が行われた上で採用に至り、2010年6月から7月に、8拠点、約200ユーザの移行を完了し、2010年末までには、44の全営業店と本部に拡大され、最終的には500台ものWyseシンクライアントが導入完了した。

これにより、業務データをデータセンター側で管理し、各端末にはデータを保持しないため、強固なセキュリティを実現することが出来たと言う。また、これまでクライアント側で実施していたアプリケーションの導入と更新がサーバ側の作業だけで完了することに加え、端末の修理・交換が容易になることにより、メンテナンス作業の大幅な効率化も実現した。

さらに利用者側においても、Wyse ThinOSファームウェアのわずか6秒という超高速起動により、業務効率が大幅に向上、かつ、各ユーザ固有のクライアント環境がXenAppサーバ上で仮想的に実現し、ユーザはあたかも自分のPCで作業をしているかのように、オフィス・アプリケーションなどを使用でき、これまでの業務環境と変わらない操作性がもたらされることとなった。



WYSE

Wyse Cloud Client Computing

ワイズテクノロジーでは使用するハードウェア・デバイスの種類にとらわれず、ソフトウェアとの融合によって実現するデスクトップ仮想化、ゼロクライアントコンピューティング、ユニファイドコミュニケーションの統合を目指すWyse Cloud Computingビジョンを提唱しています。



ワイズテクノロジー株式会社

〒100-0006
東京都千代田区有楽町1-7-1
有楽町東京電気ビルディング南館10階
TEL 03-5288-8511 FAX 03-5288-8525
E-mail mkt_jp@wyse.com
Website www.wyse.co.jp

課題は出てきますが、運用効率の向上、パフォーマンスでは期待通りの機能を発揮してくれています」

同金庫においては、今後、どこからでも、どの端末でも利用できる仮想デスクトップのメリットをさらに活用していきたいと考えているという。具体的には、営業職員がモバイル端末などを利用し、より効率的な営業活動を展開し、お客様サービスを拡充する、また会議での活用やe-ラーニングなど、これまででないIT活用のビジョンが大きく広がっていけば、と期待している。